

## 人材育成 定着支援事業

抽象的課題から具体的課題まで  
知識や技術習得に向けたカリキュラムです

### 〈福祉職員現任研修〉一例

- 高齢者支援研修・障害児者支援研修  
精神保健医療研修(基礎研修・専門研修)
- 福祉職員のための医学・薬学基礎知識
- 介護技術研修(入門講座・再確認講座)
- 請求事務研修
- 感染症対策、制度理解に関する研修
- 労務管理研修
- 福祉職員キャリアパス研修、階層別研修、選抜研修
- リクエスト研修

など

### 〈法定研修〉一例

- 認知症介護研修(基礎研修・実践者研修・実践リーダー研修)
- 介護職員実務者研修
- 介護福祉士国家試験直前対策講座
- 相談支援従事者研修(初任者・現任)
- 強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)
- 重度訪問介護従業者養成研修
- 同行援護従業者養成研修(一般・応用)
- 行動援護従業者養成研修
- 医療的ケア児等コーディネーター養成研修
- 神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・Ⅱ更新研修

など

### 〉〉〉 研修期間

半日から複数日まで

### 〉〉〉 研修形態

座学、ロールプレイ、演習、グループワーク、介護実技・実習 など

### 〉〉〉 対象

市内の対人援助業務等福祉職員  
新人・新任の方から管理職まで

## 啓発事業

- 福祉・医療等に関する書籍やDVDの貸出
- 福祉機器、福祉用具の展示



## 総合研修センター



**住所** 〒210-0024 川崎市川崎区日進町 5-1  
川崎市複合福祉センターふくふく 2階

**交通** JR「川崎」駅より 徒歩約15分  
京急「八丁畷」駅より 徒歩約10分

**TEL.044-223-6509**

**FAX.044-223-6598**

開所時間：午前9時～午後5時

開所日：火曜日～土曜日  
(祝祭日、12/29～1/3を除く)

〉〉〉 福祉職場の求人・求職のご相談は… 〈〈〈

社会福祉法人  
川崎市社会福祉協議会  
川崎市福祉人材バンク



〒211-0053 川崎市中原区上小田中6-22-5  
川崎市総合福祉センター(エポックなかはら)5階  
TEL.044-739-8726 FAX.044-739-8740

〉〉〉 福祉施設法人、職員のためのメンタルヘルスケア相談窓口 〈〈〈

こころの健康相談室  
ふおーえむ

こころの健康相談室  
ふおーえむ

事前に電話予約が必要です

相談日など詳細は、  
電話または福祉人材バンクHPにて確認してください。

〈専用電話〉

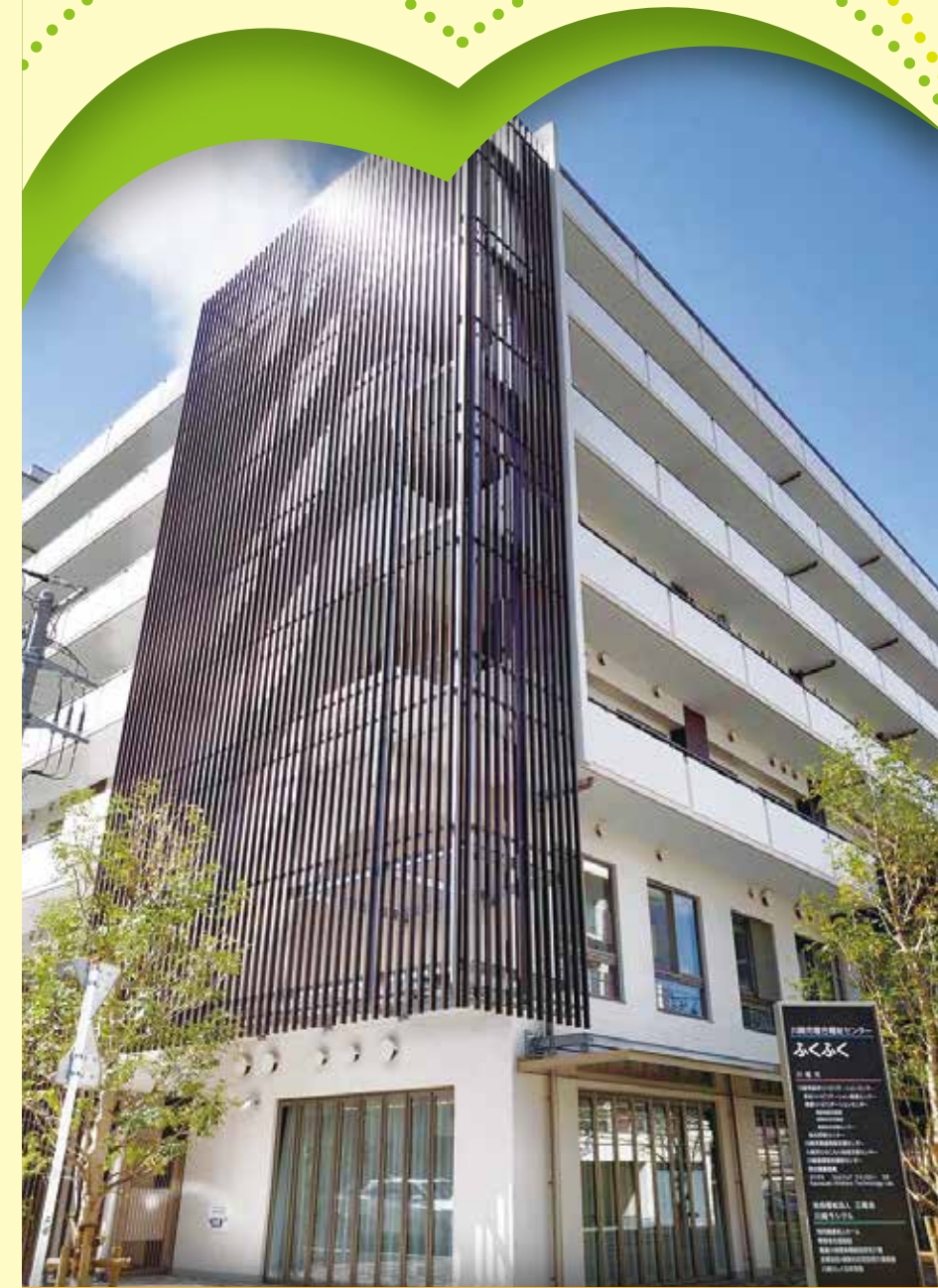
044-739-0058

〈予約受付時間〉

9:00～17:00 (月～金)

# 川崎市

# 総合研修センター



社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会



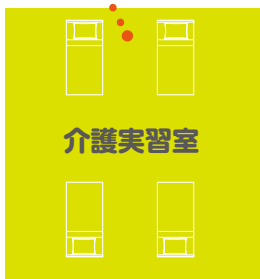
**介護実習室**

移乗・排泄・入浴など  
身体介助や介護実技を学びます。

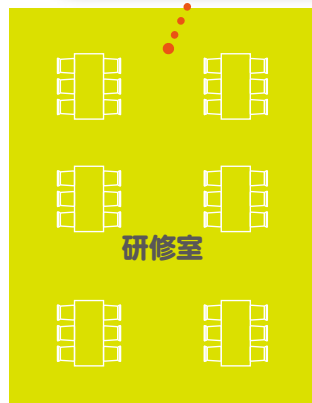


**研修室**

最大収容人数約150名の  
大きな研修室。  
換気装置、各種感染症対策等、  
研修環境を整備しています。



介護実習室



研修室



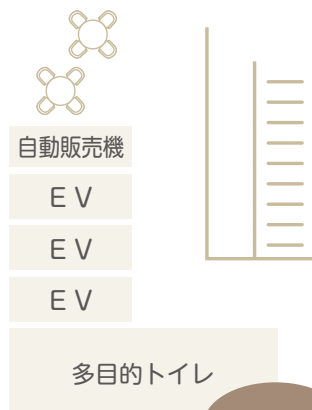
事務所

受付



多目的室

福祉機器の展示  
図書・DVD



自動販売機

EV

EV

EV

多目的トイレ

2Fです!

**多目的室**

福祉に関する本やDVD  
福祉用具などを展示しています。



# 役立つ知識 使える技術 広がるネットワーク

## 階層別・目的別研修



●● 対人援助職のプロとして 専門スキルの向上 キャリアアップを目指す ●●

### 状況に応じた多様な研修スタイル

- OJT** …… 職務と業務を通じて実践的なスキルを学ぶ
  - OFF-JT**… 職務と業務を離れて  
専門性の高い知識や技術を包括的に学ぶ
  - SDS**…… 個人学習、資格取得等、自己成長を目的に学ぶ
- これらを組み合わせ、繰り返し実行することで相乗効果がUPする!!

総合研修センターの基本研修体系  
統一対人援助職に必要な知識・技術の実践力向上研修

**集合型**  
感染症対策に留意し、集合研修ならではの研修を!

〈感染拡大時、移動時間・リスク削減をふまえた研修〉

**動画配信型 (YouTube等にて配信)**  
好きな時間、好きな場所で学びを!

**ライブ配信型 (ZOOM等導入)**  
同時双方向の研修で参加意識も向上!

**ハイブリッド型**  
オンラインにて事前学習後の集合研修など学習形態を  
組み合わせ効率的に!

### 対面型の課題解決型研修(グループワーク)にこだわる理由

— 社会人基礎力向上 —

自己を認識してリフレクションしながら、  
目的、学び、統合のバランスを図ることがキャリアを切り開く上で必要です



- 「社会人基礎力」の向上 ※2006年経済産業省提唱
  - ①前に踏み出す力：一歩前に踏み出し、粘り強く取り組む力
  - ②考え抜く力：疑問を持ち考え抜く力
  - ③チームで働く力：多様な人々と共に目標に向け協力する力

※グループで意見を出し合い、結論を出す作業により、チームワーク、コミュニケーション能力等を育む。
- 実施の工夫
  - ・ファシリテータによる時間管理や習熟度・進捗状況の確認、円滑な進行と理解への配慮
  - ・インプット、アウトプットによる学びの咀嚼
  - ・縦横のつながり(ネットワーク)形成